

最終レポート

第 46 期日墨戦略的グローバルパートナーシップ研修計画 川田佑樹

2018年8月から2019年7月末まで日墨戦略的グローバルパートナーシップに埼玉県推薦枠から参加させていただいた、川田佑樹と申します。今回は最終レポートとして、僕自身初めての留学する国となったメキシコ合衆国について書きつつ、今回の滞在についてまとめたいと思います。

「なぜメキシコなのか」

このような疑問を抱く方が多いかと思います。

1つ目の理由としてはスペイン語を大学の第二外国語として取っており、その授業を通じスペイン語圏のメキシコに興味を持ったからです。

2つ目の理由としては、大学に入ってから留学したいとは思っていたのですが、アメリカやカナダなど他の留学生が行く国についてはいろいろと話を聞いていたため面白くないと思い、どうせ留学に行くならあまり知られていない国に行きたいと考えていました。ただマイナーな国への留学の機会は少なく、また自分で私立大学に通っていることもあり奨学金がないとどうしても経済的負担が重いため、留学をあきらめていた矢先にこのプログラムを見つけ応募しました。



「メキシコって大丈夫なの？」

これはよく友人や友人の親御さん等多くの人に聞かれた質問でした。この質問への答えについて出発前は答えられませんでした。帰国した今は「全く問題はない」と答えようと思います。日本人の方々は報道等の影響や先入観もありメキシコについて「危険」「窃盗」「麻薬」「殺人」等ネガティブなイメージを抱きがちです。このようなイメージは少なからず僕も抱いてはいたのですが、現実には「それだけ」ではないということが分かりました。それは以前も紹介したメキシコ人の人間性、マヤ文明、アステカ文明などの昔の文化を踏襲した伝統ある料理、数々の遺跡を通じて学べる古き良き歴史など挙げるときりがないです。先述のネガティブな面は基本的



に日本国外でどこでも起こりうることです。しっかりと注意を払っていれば問題なく生活ができます。気を抜いてしまったときにそのような事件に巻き込まれます。(筆者は気を抜いた時にバックを盗まれました。)

「メキシコって何があるの？」

メキシコに詳しくない人、訪れたことがない人はこのように思うかもしれません。先ほども少しだけあげましたが、それらについて詳しく書き残していきたいと思います。



メキシコの魅力

文化

メキシコは、かつてのアステカ文明、マヤ文明、サポテ文明に加え、植民地されることによって取り入れられたスペインの文化などいろいろなものが混ざって出来上がっています。これら以外に少数民族の文化などもあり、まさに文化の宝箱となっています。食文化1つとっても、豊富で確実におなかを満たしてくれます。地方によってトルティージャの色や大きさが変わることもあります。このメキシコの食文化は世界無形文化遺産に登録されています。

この国の中では多くの文化が混ざり合い独特の味を出しています。

歴史

前述のようにこの国には多くの文明が存在したため、それぞれの地域に大きな遺跡、それらに関連した博物館、美術館、建物が多く存在します。これらの場所は学生は基本的に無料で入ることができ、さらに日曜日は学生社会人問わず全員無料で入れるなど開放を行っています(もちろんすべてではありませんが。)。世界遺産登録数も世界で7位につけています。

メキシコの文化は、メソアメリカに大きな影響を受け続け、そしてスペインによって植民地化されたことによって大きく変化を遂げ、確立しました。それぞれの歴史が濃く、美しいメキシコを作り上げています。

このようにして国民に興味を持たせることによって、古き良き習慣、慣習や歴史認識をさせることにより文化がまだ生きていると感じました。

人間性

前回のレポートにも書きましたが、この国の人々は本当に温かく優しくフレンドリーです。例えば、道に迷った際、調べてもわからない時は近くにいる人に聞くと必ず何かしらの反応をしてくれます。教えてくれたり、調べてくれたり、他の人に聞いてくれたり、さらには目的地まで連れて行ってくれたりします。助け合いの精神を強く感じました。逆に、私に対してもメキシコ人は道を聞いたり、知り合いの場合は話しかけてくれたりします。また、電車ではおばあちゃんやおじいちゃんにはほぼ席を譲るのは当たり前、バスで降りるときには手を貸すのは当たり前などの優しさも随所に見られました。

また、素敵だなと思ったことは、どんなに小さなことでも、例えばレストランで食事を提供してくれたとき、食後には必ず「Gracias(ありがとう)」を言うことです。日本では客がお金を払っているの、店員は持ってきて当然というスタンスをとる傾向にあります。少なくとも私が今アルバイトをしているところでは、感謝の言葉を使う人はとても少ないです。

また、愛情表現が非常に豊かで道端でキスをしていたり、ハグしているシーンはよく見かけます。

何か日本で住んでいたことによって忘れていた人間らしさを感じられました。

これだけではありませんがこれらは私が考えるメキシコの魅力です。

最後に

私は今回の留学を通じて、このような機会がなくては得られないような非常に多くの大事なことを感じ学びました。もちろん語学的な側で学ぶことも多かったのですが、最大の体験は知らない文化に飛び込み肌で感じたことでした。この経験は心から無くなることはなく、これからの人生に活かされると思います。さらに、今後とも機会があればメキシコと何らかの形で関わっていきたいです。

最後にはなりますが今回の私の留学に携わってくださった埼玉県国際課の方々、外務省中米カリブ課の皆さま、大学 OB 会の方々、今回とも一緒に留学をした同期、友人、そして留学に行くことに理解を示し、私の肩を押してくれた家族など多くの方へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

